

民間も企業も行政も、地球の未来を考え
パートナーシップで行動しよう



NPO法人 青森県環境パートナーシップセンター



2003年、青森県で初めての 地球温暖化防止など、環境活動を 中心に行うNPO法人として設立

未就学児から大人まで、幅広い層の皆さんに、地球温暖化のような世界の環境問題からごみや食品ロス削減といった暮らしの環境についてまで、学びの場を提供しています。

地球環境と身の回りの課題を結びつけるため、地域の環境とSDGsを内容に取り込んだむつ湾キューブ、食育キューブ、あおもりSDGsかるた、カーボンクエストin青森など、オリジナル教材も制作して活用しています。また、むつ湾の絵コンクールを実施しており、毎年200人近い子どもたちが海の絵を寄せてくれています。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について
上: むつ湾の環境と沿岸市町村を学ぶ教材「キューブdeむつ湾」
下左: なぜかかるとにはみんな熱くなる
下中・右: 浅虫の東側海岸には大量のごみが漂着します

〒030-0861 青森県青森市長島2-1-5 みどりやビル 9F
電話 017-721-2480
FAX 017-723-7631
E-mail info@eco-aomori.jp
URL http://www.eco-aomori.jp



活動紹介

キューブdeむつ湾、むつわんかるた、 DVD「むつ湾を守ろう」 むつ湾海岸清掃、むつ湾の絵コンクール



むつ湾の自然が読み込まれています



むつ湾の絵コンクール
チラシ



海岸清掃に出る前に海ごみの学習

プロジェクト概要

2016年に青森市がむつ湾週間(6/1~6/21)を制定したことを記念して、むつ湾の絵コンクールを開催して、今年では第8回を数えます。また、年に2回、地域の中学生や高校生と一緒にむつ湾の海岸清掃を行っています。EPO東北と協働で2016年に制作したオリジナル教材「キューブdeむつ湾」は地球温暖化防止活動推進員の完全手づくりで、今も小学校で活用されています。未就学児向け「むつわんかるた」はむつ湾沿岸の保育園などで好評です。2022年にはアマモをテーマに、子ども向けDVD「むつ湾を守ろう」を制作しました。2023年の猛暑は、むつ湾のホタテにも大きな被害をもたらしました。このプロジェクトは、子ども達が身の回りの自然の変化が地球環境と直接つながっている事を、自分ごととして知る機会となっています。

ESD実践のポイント

むつ湾週間制定の背景には、子どもたちの日常から海が遠くなっている危機感がありました。学校にプールができて、海で泳ぐことができなくなり、漁業の衰退とともに食卓に魚がのぼることも減っていかなくて、縄文の昔から私たちの命を育てて来たむつ湾を、もう一度感じて、大切にしたいという願いから、様々なプロジェクトが動き始めました。毎年実施している海岸清掃では、地域の小学校、中学校、高校の子ども達に、むつ湾のアマモの生態やマイクロプラスチックなど、海にまつわる座学を実施、それから海岸に出て清掃活動をします。終了後に一人一人に参加証を渡す事で、むつ湾を守る実践者として、たとえ将来、むつ湾を離れて暮らす事になっても、ふるさとの海を大切に思う気持ちを持ち続けて欲しいという活動しています。

担当者からのメッセージ

年間相当数の講座を行って10年以上たちます。小学生の時に講座で環境を学んだ子はのべ1万人を超えるでしょう。次は彼らが自分の子どもに教える立場になって欲しい。地球の未来は彼らの未来ですからね。子どもの柔軟な感性で捉えた地球のこと、むつ湾のこと、今日のその体験1回がその子を劇的に変えることはなくても、積み重ねる事で社会が変わっていくことを願っています。
というか、大人の責任として、積み重ねたいと思っています。



代表理事
渋谷 拓弥さん